

治療を受ける患者さまへ

化学療法で使用する薬は血管外へ漏れると、その部分の皮膚が赤く腫れたり、ただれたりする可能性があります。安全に治療を受けていただくために、患者様にも治療中に注意していただきたい点がございますので、ご協力ください。

- ☆ 治療の日は身体を締め付けない服装で来院ください。
点滴の際、袖をまくるときに服がきついと点滴確保の血管に圧がかかるので冬場は、袖口のゆとりのあるヒートテックなどを着用ください。
- ☆ 点滴している部位の違和感や痛みを感じた場合、すぐに看護師へお知らせください。
- ☆ トイレに行きたいときや、身体を動かしたいときは看護師へお知らせください
- ☆ 点滴終了後は針を抜いた部位を 2～3 分しっかりと押さえてください
- ☆ 長時間の治療がある方は治療中、タイミングをみて軽食をとっていただけますが、においや刺激の少ない食べ物をご持参ください。



外来化学療法センター スタッフ一同